

私たちは、ものづくり企業を応援します



年間スケジュール

受講推奨フロー

機械系

電気・電子系

管理系

受講申込みのご案内

その他サービス

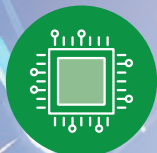
2025年度
後期版

能力開発セミナー ガイド

2025年9月～2026年3月

ワンランク上の

自分を目指す



電気・電子系

- アナログ回路設計
- 生産システム保全、メカトロニクス設計
- デジタル回路設計、組み込みシステム開発・設計、マイコン制御設計
- 通信設備工事／情報配線施工
- 電力設備保全／電力変換設備保全



機械系

- 機械設計／機械製図
- 汎用機械加工
- 機械保全
- 金属熱処理／金属表面処理



管理系

- 生産計画／生産管理、工程管理／技術管理、品質管理
- 教育訓練計画／教育訓練実施、指導技法、安全管理

能力開発セミナーは
「高度なものづくりを支える人材」
の育成を支援します

千葉職業能力開発短期大学校

(ポリテクカレッジ千葉)

■ 千葉キャンパス

■ 成田キャンパス

こんな“お悩み”抱えていませんか？

普通高校
出身者を
じっくり
育てたい

新入社員に
基礎を
学んで
ほしい

現場を
引っ張る
リーダーが
足りない

「事業主推薦制度」で
千葉職業能力開発短期大学校に
(ポリテクカレッジ千葉)

入校

【事業主推薦制度を利用するメリット】

- 基礎から応用までの体系的な教育訓練により、2年間じっくりと専門知識、技能、技術を習得することができる。
- 専門的なスキルがない人材を採用することができるため、人材確保が容易になる。人材不足の解消。
- 専門知識を持ったカレッジの指導員が指導するので、社内で指導者(専門家)の人材を確保する必要がない。指導者不足の解消。
- 他の学生と一緒に訓練することで、コミュニケーション力やリーダーシップといった、会社でリーダーになるために必要な能力を習得しやすい。
- 仕事に必要な技能、技術を習得することで、会社に戻ってから自信をもって仕事ができるようになる。ミスマッチによる早期退職の防止。
- 地域貢献につながることで、企業のイメージアップになる。

資金面も「助成金」で安心！

社員の職業能力開発に関する計画(事業内職業能力開発計画、年間職業能力開発計画)に基づいて事業内推薦制度を利用して訓練を行った企業については、訓練期間中に支払った賃金の一部を人材開発支援助成金により助成します。

※要件等、詳しくは最寄りの都道府県労働局へ

「人材開発支援助成金」については、こちら



社会に必要とされるエンジニアを育む

6つの強み

1 少人数制(10名~30名)で学ぶ、実践的な教育プログラム

作業の流れを理解する実習と原理・原則を理解する実験を学ぶことで様々な状況に対応できる知識と能力を身に付けます。

2 充実した就職支援体制で高い就職率と職場定着率

就職率100%、求人倍率11.7倍、職場定着率72.9%。
将来性の高い評価をいただいております。

3 企業で使われている実験・実習設備

実際の企業で使用されている機器で実習を行い、即戦力となる人材を育成します。

4 各種資格取得への支援

実際の企業で使用されている設備で専門分野を学ぶことによって、就職後役立つ資格取得を支援します。

5 応用課程(プラス2年)への進学

全国の職業能力開発大学校の応用課程へ進学することができます。

6 入校料、授業料などは公立短大と同等

入校料169,200円(専門課程)、授業料(年額)390,000円
入校料・授業料減額・免除制度、奨学金制度(融資)あります。

事業主推薦制度の 対象となる科は、次のとおり

【千葉キャンパス】

電子情報技術科

新たな付加価値と創造を助けるエンジニア



修了後の職業 主な職種

エレクトロニクスエンジニア
組込みエンジニア
ネットワークエンジニア

主な就職先 (順不同)

株式会社安西製作所
京設工業株式会社
株式会社ソード

定員25名

電気エネルギー制御科

新しいエネルギーを学び、地球との関わりを考えるエンジニア



修了後の職業 主な職種

電力設備管理エンジニア
産業機械制御エンジニア
エネルギー有効利用
エンジニア

主な就職先 (順不同)

株式会社HI物流産業システム
八洲電機株式会社
昭和アステック株式会社

定員20名

住居環境科

デザインと快適で豊かな住環境を支える技術者



修了後の職業 主な職種

構造設計
建築施工管理
意匠設計

主な就職先 (順不同)

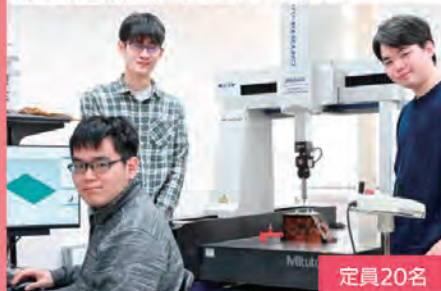
平山建設株式会社
株式会社向後
構造設計事務所
株式会社新昭和

定員20名

【成田キャンパス】

生産技術科

設計から加工までできるエンジニア



修了後の職業 主な職種

機械加工・NC 技術者
CAD 技術者
機械メンテナンス

主な就職先 (順不同)

ANA エンジン
テクニクス株式会社
ダイキン工業株式会社
日産自動車株式会社

定員20名

航空機整備科

世界で活躍する確かなエンジニア



修了後の職業 主な職種

運航整備士
エンジン整備士
部品整備

主な就職先 (順不同)

株式会社JALエンジニアリング
ANAベースメンテナンス
テクニクス株式会社
ANAラインメンテナンス
テクニクス株式会社

定員30名

人材の採用に関してこんなお悩みありませんか？

1. 新入社員の定着率が悪い
2. 電気分野と機械分野がわかる人がいない
3. 即戦力として働ける人がいない

**メカトロニクス技術科で
すべて解決！**

カリキュラムに2種類の企業実習がある



インターンシップ

自らの専門分野、将来のキャリアとしたい分野の企業での就業体験により、業界研究や職業意識の啓発を行うことを目的としております。

- ▶ 1年次6月頃(入校から約8ヶ月経過):5日間
- ▶ 2年次10月頃(入校から1年経過):5日間

就労型実習

実際に企業で雇用され、従業員として仕事をするを通じ、職業人としての基礎力を身につけることを目的としております。なお、就労型実習終了後もそのまま継続雇用が可能です。

- ▶ 2年次4月頃から(入校から1年6ヶ月経過):5~6ヶ月間

▶事前に職場の雰囲気を経験できるから定着率が高まります。

▶事前に仕事内容を体験できるから即戦力として働けます。

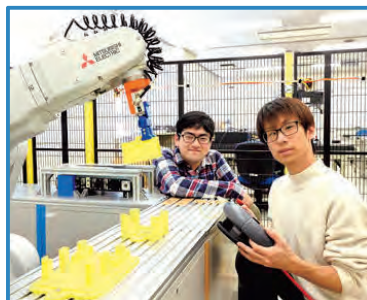
カリキュラムが機械・電気など様々な内容で構成されている



- ▶ メカニクス(機械工学)
- ▶ エレクトロニクス(電気・電子工学)
- ▶ コントロール(制御工学)
- ▶ プログラミング(情報工学)

※カリキュラムの一例です

▶電気も機械も学びます。



メカトロニクス技術科

- ▶ 修了生採用
- ▶ 企業実習生受入れ

▶お問合せ先
千葉職業能力開発短期大学校
学務援助課
043-242-4193



能力開発セミナーガイド 目次

能力開発セミナーのご案内

皆様へのサービスメニュー	2
能力開発セミナーコース年間スケジュール	3
能力開発セミナー受講推奨フロー	4 ~ 5
能力開発セミナーガイドの見方・内容	6

能力開発セミナーコース 概要

	機械系	機械設計/機械製図	7
		汎用機械加工	7
		機械保全	8
		金属熱処理/金属表面処理	8
	電気・電子系	アナログ回路設計	9
		生産システム保全、メカトロニクス設計	10
		デジタル回路設計、組込みシステム開発・設計、マイコン制御設計	11 ~ 12
		通信設備工事/情報配線施工	13
		電力設備保全/電力変換設備保全	13
	管理系	生産計画/生産管理、工程管理/技術管理、品質管理	14 ~ 16
		教育訓練計画/教育訓練実施、指導技法、安全管理	17 ~ 18

受講申込みのご案内

能力開発セミナー受講申込みのご案内	19 ~ 21
能力開発セミナー受講申込書、記入例	22 ~ 23
能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表、記入例	24 ~ 25
よくあるご質問 Q&A	26
利用者の声	27 ~ 28

各種ご案内

関東地域の施設所在地一覧	29
能力開発セミナー詳細情報の検索方法	30
高度ポリテクセンター	31
共同研究・受託研究のご案内	32
施設使用料金一覧表（千葉キャンパス）	33
施設設備使用申請書	34
生産性向上支援訓練のご案内	35
生産力UP！のために人材を育成しませんか！	36 ~ 37
生産性向上支援訓練コース一覧	38 ~ 39
各種助成金制度	40
採用ご担当者の皆様へ	41
求人票	42

ポリテクカレッジアクセスマップ	裏表紙
-----------------	-----

皆様へのサービスメニュー

①エンジニアの育成

千葉市と成田市の2つのキャンパスに6科を設置し、徹底した少人数教育のもとに基礎理論を学び、その理論を実習で体験して身につける教育を行っています。これに技能と応用力を併せ持つエンジニアを育成しています。

②共同研究や受託研究

新製品の開発、新技術の導入、業務の効率化などの技術的課題について、当校がもつノウハウや設備・機器等を活用して、企業の研究・開発の支援を行っています。

③能力開発セミナー

企業で働く方やご自身でスキルアップを図る方を対象として、短期間（2～3日間）のものづくり分野のセミナーを実施しています（P7～P18を参照）。

また皆様の要望に沿ったオーダーメイドのセミナーも実施しています（P21を参照）。

④社内研修の指導員を派遣

社内研修や講習を実施する際の指導員を派遣しています。

⑤企業の能力開発プランづくりや他のセミナー・講習の情報提供

社員の専門能力の向上を目指す企業や業種団体（協同組合、社団法人、協会など）を対象として、職業能力開発のプランづくりの相談・支援を行っています。また千葉県が実施している講習等の情報を提供しています。

⑥社内研修の場所の提供

社内研修を実施する場所として、教室、実習場や設備・機器を貸し出しています。

※千葉キャンパスの施設設備の使用は、P33をご覧ください。

※成田キャンパスの施設設備の使用は、下記の成田キャンパスへお問合せください。

⑦求人のご案内

皆様の求人をお待ちしています。

⑧企業内でのインターンシップ・就労型実習の取り組み

インターンシップや就労型実習を受入れいただく企業を募集しています。

※企業内実習のメリット

採用時の学生と企業とのミスマッチをなくし、よりよい人材を採用できます。

お問合せは
学務援助課まで

千葉キャンパス … ①,⑦,⑧ TEL 043-242-4193

②～⑥ TEL 043-242-4192

成田キャンパス … ①～⑧ TEL 0476-22-4351

能力開発セミナーコース 年間スケジュール

【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192
成田キャンパス：0476-22-4351

●機械系

分 野	コース 番 号	コ ー ス 名	掲載 ページ	開催 場所	定員	日数	受講料 (税込)	2025年				2026年		
								9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機械設計/ 機械製図	N05	設計者のための機械加工技術	P7	成田 キャンパス	10名	2日	12,000円	30(火)	1(水)					
汎用機械加工	N08	旋削加工の理論と実際	P7	成田 キャンパス	10名	2日	9,000円		28(火) 29(水)					
機械保全	N14	生産現場の機械保全技術	P8	成田 キャンパス	10名	2日	8,500円			18(火) 19(水)				
金属熱処理/ 金属表面処理	N15	鉄鋼材料の熱処理技術	P8	成田 キャンパス	10名	2日	8,500円				16(火) 17(水)			

●電気・電子系

分 野	コース 番 号	コ ー ス 名	掲載 ページ	開催 場所	定員	日数	受講料 (税込)	2025年				2026年		
								9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アナログ回路設計	C08	シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術 (LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法)	P9	千葉 キャンパス	10名	2日	12,500円							24(火) 25(水)
	C09	アナログフィルタ回路設計・評価技術	P9	千葉 キャンパス	10名	2日	8,500円				11(木) 12(金)			
生産システム保全 メカトロニクス設計	C11	実践的PLC制御技術	P10	千葉 キャンパス	10名	2日	9,000円	11(木) 12(金)						
	C12	産業用ロボット活用技術	P10	千葉 キャンパス	6名	2日	13,000円					15(木) 16(金)		
デジタル回路設計 組込みシステム 開発・設計 マイコン制御設計	C13	デジタル回路設計技術 (FPGAを用いたデジタル回路設計技術)	P11	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円							12(木) 13(金)
	C15-2	組込みシステムにおける プログラム開発技術	P11	千葉 キャンパス	10名	2日	8,000円						18(水) 19(木)	
	C16-2	センサを活用した IoTアプリケーション開発技術	P12	千葉 キャンパス	10名	2日	12,000円							16(月) 17(火)
	C17-2	マイコン制御システム開発技術 (Raspberry Pi編)	P12	千葉 キャンパス	10名	2日	11,000円							12(木) 13(金)
通信設備工事/ 情報配線施工	C18	光伝送路構築技術 (光ファイバ施工に係る知識・技術の習得)	P13	千葉 キャンパス	10名	2日	20,000円	11(木) 12(金)						
電力設備保全/ 電力変換設備保全	C20-2	高圧電気設備の保守点検技術	P13	千葉 キャンパス	10名	2日	12,000円		2(木) 3(金)					

●管理系

分 野	コース 番 号	コ ー ス 名	掲載 ページ	開催 場所	定員	日数	受講料 (税込)	2025年				2026年		
								9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生産計画 / 生産管理 工程管理 / 技術管理 品質管理	C27	製造業における実践的生産管理	P14	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円		16(木) 17(金)					
	C28	生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得)	P14	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円		6(月) 7(火)					
	C29	実践生産性改善	P15	千葉 キャンパス	15名	2日	8,000円				11(木) 12(金)			
	N16	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	P15	成田 キャンパス	15名	2日	11,000円			12(水) 13(木)				
	C31	製造業に活かす品質管理技法	P16	千葉 キャンパス	12名	3日	10,000円			25(火) 26(水) 27(木)				
	N17	成功事例から学ぶ品質の維持と向上	P16	成田 キャンパス	15名	2日	11,000円				17(水) 18(木)			
指導技法 教育訓練計画 / 教育訓練実施 安全管理	C33-2	5Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に役立てる)	P17	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円	18(木) 19(金)						
	①C34-1 ②C34-2	仕事と人を動かす現場監督者の育成	P17	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円	① 11(木) 12(金)		② 13(木) 14(金)				
	C35	技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)	P18	千葉 キャンパス	20名	2日	9,000円		27(月) 28(火)					
	N18	ヒューマンエラー対策実践 (ボカミスのない職場作り)	P18	成田 キャンパス	20名	2日	8,500円		9(木) 10(金)					

能力開発セミナー受講推奨フロー

推奨フローの見方

- ・推奨フローは、機械系、電気・電子系、建築系の分野別に仕事の要素に応じてまとめています。
- ・専門分野に関する知識や技能を習得したい場合に、どのように学習していけばよいかを表しています。
(ステップ1→ステップ2→ステップ3と内容をレベルアップ)

機 械 系

ステップアップ 1→2→3

分 野	ステップ1	ステップ2	ステップ3
機械設計/機械製図		設計者のための機械加工技術 N05	7 ページ
汎用機械加工	旋削加工の理論と実際 N08	7 ページ	切削実技で学ぶ直ぐに使える切削技術 切削実技で学ぶステンレス鋼と難加工材の削り方
機械保全	生産現場の機械保全技術 N14	8 ページ	
金属熱処理/金属表面処理	鉄鋼材料の熱処理技術 N15	8 ページ	

電気・電子 系

ステップアップ 1→2→3

分 野	ステップ1	ステップ2	ステップ3
アナログ回路設計	シミュレータを活用した オペアンプ回路設計技術 (LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法) C08	9 ページ	製作しながら学ぶ高周波回路設計技術
	アナログフィルタ回路設計・評価技術 C09	9 ページ	
シーケンス(PLC)制御設計 生産システム保全 メカトロニクス設計		実践的PLC制御技術 C11	10 ページ
		産業用ロボット活用技術 C12	10 ページ
デジタル回路設計 組込みシステム開発・設計 マイコン制御/ パソコン制御設計	デジタル回路設計技術 (FPGAを用いたデジタル回路設計技術) C13	11 ページ	
	組込みシステムにおける プログラム開発技術 C15-2	11 ページ	
	センサを活用した IoTアプリケーション開発技術 C16-2	12 ページ	
		マイコン制御システム開発技術 (Raspberry Pi編) C17-2	12 ページ
通信システム設計 通信設備/情報配線施工	光伝送路構築技術 (光ファイバ施工に係る知識・技術の習得) C18	13 ページ	
電力設備保全/ 電力変換設備保全	高圧電気設備の保守点検技術 C20-2	13 ページ	

は、千葉職業能力開発短期大学校（千葉キャンパス、成田キャンパス）で実施するコース

は、高度ポリテクセンターで実施するコース

※ 高度ポリテクセンターの連絡先は、31ページをご覧ください。

【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

管理系

ステップアップ 1→2→3

分野	ステップ1		ステップ2		ステップ3
生産計画/生産管理 工程管理/技術管理 品質管理	製造業における実践的生産管理 C27	14 ページ	現場の課題を把握した生産性向上のための 生産管理手法		
	生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得) C28	14 ページ			
	実践生産性改善 C29	15 ページ	生産活動における課題解決の進め方		
	なぜなぜ分析による製造現場の 問題解決 N16	15 ページ			
	製造業に活かす品質管理技法 C31	16 ページ			
	成功事例から学ぶ品質の維持と向上 N17	16 ページ	顧客満足と組織納得の品質管理		
教育訓練計画/ 教育訓練実施 指導技法 安全管理	5 Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に 役立てる) C33-2	17 ページ	仕事と人を動かす現場監督者の育成 C34-1、C34-2	17 ページ	生産設備のムダ取り改善とからくり
	技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成) C35	18 ページ			
	ヒューマンエラー対策実践 (ボカミスのない職場作り) N18	18 ページ			

は、千葉職業能力開発短期大学校（千葉キャンパス、成田キャンパス）で実施するコース

は、高度ポリテクセンターで実施するコース

※ 高度ポリテクセンターの連絡先は、31ページをご覧ください。

ポリテクカレッジ千葉の能力開発セミナーを
貴社の人材育成にご活用ください

受講者満足度	2024年度	事業主生産性向上度
98.8 %		93.9 %

能力開発セミナーガイドの見方・内容

A 次のとおり 見ると便利

① 能力開発セミナーコース一覧を見て、コースを確認

P3

② 能力開発セミナー受講推奨フローを確認

P4 ~ P5

③ 能力開発セミナーコースの概要を確認

P7 ~ P18

B 受講するコースが決まったら

受講申込書 (P22) にて電子メール、
FAXまたは郵送してください。

C 別のメニューでコースを希望される方 別の日程でコースを希望される方

オーダーメイドのコースが出来ます。
ご相談ください。

P21

能力開発セミナーコースの概要は、以下の構成になっています。

分野名				
「コース名」				
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
コース番号	〇〇月〇〇日(〇)、〇〇日(〇)	千葉キャンパス	各回の	1名様当りの 受講料
	〇〇月〇〇日(〇)、〇〇日(〇)	成田キャンパス	定員数	
日 数	実施日数(延べ訓練時間)			
時 間	開始時間～終了時間(1日の訓練時間を〇時間/日と記載)			
使 用 機 器	使用する主な機材等を記載			
持 参 品 他	持参するものを記載			
講習内容 講習内容についての概要を記載します。				
主な内容 - 講習内容を項目で記載します。 //				

申込書を送る前に、次の点をご確認ください。

- 日程 : 実施期間は、コースにより異なります。
➡ ①2日間 ②3日間 ③4日間
- 講習時間 : セミナーの開始・終了時刻は、コースにより異なることがあります。
➡ 基本時間 9:30～16:20 (6時間/日)
- 受講料 : 1コース1名様の料金となっています。
➡ 複数コース又は複数名を一度にお申し込みいただく場合はご注意ください。
- 会場 : 「千葉キャンパス」と「成田キャンパス」の二つの会場があります。

能力開発セミナーコース 概要

【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

機械設計/機械製図

設計者のための機械加工技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N05	9月30日(火)、10月1日(水)	成田キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	普通旋盤、フライス盤、NC旋盤、マシニングセンタ、各種測定器等			
持参品他	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、保護眼鏡(保護眼鏡は貸出可)			

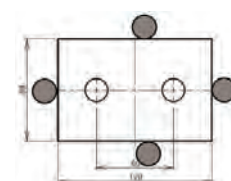
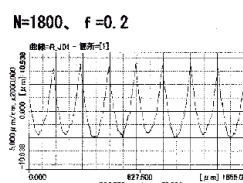
講習内容

設計の後工程(加工)を知ることで設計の高付加価値化をめざすコースです。
各種工作法の理解と工作機械による実演、加工体験を通して設計者として知っておくべき機械加工の特徴および加工精度、問題点等を習得します。

主な内容

- 機械工作法と工作機械
- 加工の特徴(旋盤、フライス盤)
- 工具について(種類、形状、活用方法)
- 作られる製品形状
- 表面粗さについて
- 加工実習(各種工作機械による実演と体験実習)

※体験実習はフライス加工でのみ実施します。



汎用機械加工

旋削加工の理論と実際

成田

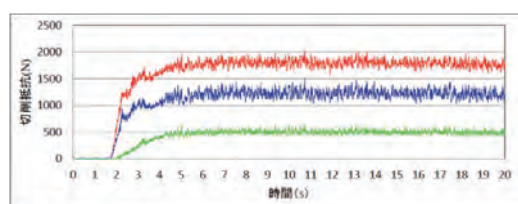
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N08	10月28日(火)、29日(水)	成田キャンパス	10名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	普通旋盤、各種切削工具、切削動力計、各種測定器(ノギス、マイクロメータ等)			
持参品他	筆記用具、作業服、作業帽			

講習内容

切削検証実習を通して、切削理論と実際の相違点を理解し、生産現場における問題を改善できる能力を習得します。

主な内容

- 切削理論及び加工技術
- 切削検証
- 検証データのまとめと考察



能力開発セミナーコース 概要

機械保全

生産現場の機械保全技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N14	11月18日(火)、19日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	作業工具一式、振動測定装置一式、回転装置一式			
持参品他	筆記用具、作業服(上)、作業帽			

講習内容

生産機械に用いられる伝動装置に関して、未然にトラブルを防ぐための日常点検に不可欠な、機械の正常な状態の把握、早期に異常を発見するための定量的な評価方法を習得します。

主な内容

- 機械要素(ボルト・ナット)に関する保全
- 伝達系機械要素(転がり軸受、歯車等、Vベルト、チェーンの保全)
- 密封装置について



金属熱処理/金属表面処理

鉄鋼材料の熱処理技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N15	12月16日(火)、17日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	電気炉、金属顕微鏡、硬さ試験機			
持参品他	筆記用具、作業服、作業帽			

講習内容

金属熱処理の生産性の向上を目指して、各種熱処理技術に必要な鉄鋼材料の知識と各種熱処理方法、評価技術および熱処理の不具合とその対策に関する技能と技術を習得します。

主な内容

- 鉄鋼材料の基礎
- 熱処理概論
- 鉄鋼材料の熱処理
- 材料の組織観察
- 材料の硬さ試験



【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

アナログ回路設計

シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術
(LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法)

千葉

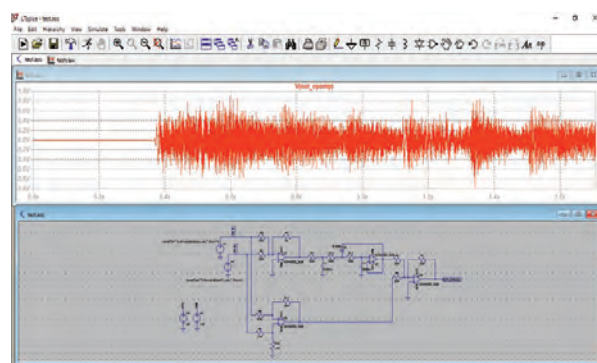
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C08	3月24日(火)、25日(水)	千葉キャンパス	10名	12,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン、回路シミュレータ(LTspice)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、最適化(改善)に向けたシミュレーション結果による検証をする。また、電子機器の開発・試作時に必要となるオペアンプ回路の設計技術を回路シミュレーションを行いながら習得する。

主な内容

- オペアンプ回路の基本動作
- 増幅回路と信号変換
- 発振回路
- 入出力特性、周波数特性、位相余裕
- まとめ



アナログ回路設計

アナログフィルタ回路設計・評価技術

千葉

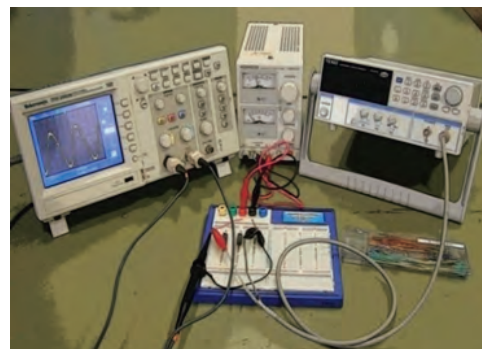
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C09	12月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	直流安定化電源、デジタルマルチメータ、信号発生器、オシロスコープ、ブレッドボード			
持参品他	関数電卓、定規、筆記用具			

講習内容

受動素子および能動素子を使用してアナログ回路の設計・開発の効率化・最適化(改善)をめざして、実用的なアナログフィルタ回路の設計技術とその評価技術を習得します。

主な内容

- アナログフィルタの種類
- パッシブフィルタの設計法
- パッシブフィルタの設計・評価実習
- アクティブフィルタの設計法
- アクティブフィルタの設計・評価実習



能力開発セミナーコース 概要

生産システム保全

実践的PLC制御技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C11	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	PLC(三菱Qシリーズ)、ツール(MELSEC GX Works2)、負荷装置(コンベア搬送装置)			
持参品他	筆記用具			

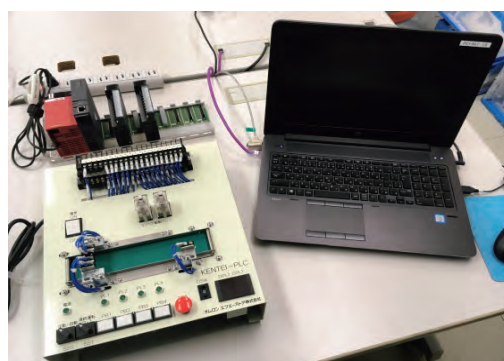
講習内容

PLCの概要及び入出力機器配線、制御回路(ラダープログラム)の作成方法を実習をととして理解し、デバック機能や保守に関してもわかり易く講習します。

主な内容

- PLC制御の概要
PLCの基本について学習する
- I/O割付、入出力機器配線
PLCと各制御機器の配線方法を学習する
- ラダープログラミング
ラダープログラムの作成方法について学習する
- パラメータ設定、モニタ、デバック
プログラムのモニタ、デバックの手法について学習する
- 総合実習
模擬負荷装置を利用した実践的な制御実習を行う

※本コースは、『有接点シーケンス制御の実践技術』を受講された方、又は同等の知識をお持ちの方を対象としています。



実習イメージ(制御対象は変わる可能性があります)

メカトロニクス設計

産業用ロボット活用技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C12	1月15日(木)、16日(金)	千葉キャンパス	6名	13,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	三菱電機産業用ロボット(RV-2F-Dシリーズ)、PLC(三菱電機Qシリーズ)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

6軸多関節タイプの産業用ロボットのシステムについて操作方法、プログラミング、PLC連携、安全について実習を通じて習得します。

主な内容

- 産業用ロボットシステムの概要
- 産業用ロボットシステムの操作方法
 - ・ティーチング実習
 - ・プログラミング実習
- CC-Linkによる産業用ロボットとPLCの連携
- 総合実習

※労働安全衛生法に基づく特別教育ではありません。



【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

デジタル回路設計

デジタル回路設計技術
(FPGAを用いたデジタル回路設計技術)

千葉

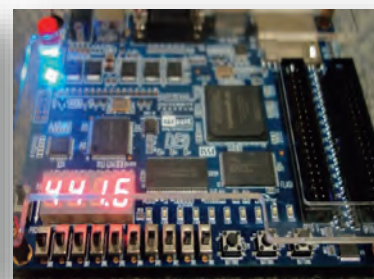
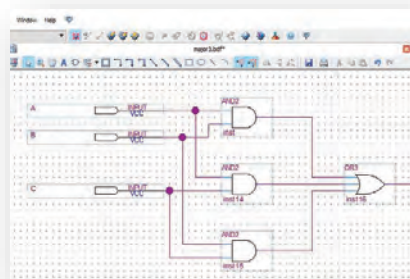
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C13	3月12日(木)、13日(金)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	FPGAボード(Intel社製Cyclone3)、回路図入力ツール(Nios2)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

プログラマブルでデジタル回路が構築可能なFPGAデバイスを使用して、デジタル回路の組合せ回路、順序回路の設計手法を学びます。基本ゲート回路を回路図で入力することでデジタル回路の基本動作および設計の勘所を習得します。

主な内容

- デジタル回路とその特徴
- 組合せ論理回路の設計手法
- エンコーダ・デコーダ回路
- 順序回路の設計手法
- フリップ・フロップ回路、レジスタ回路
- 応用回路設計(スロットマシン回路)



回路図入力ツールとFPGAボード

組込みシステム開発・設計

組込みシステムにおけるプログラム開発技術

千葉

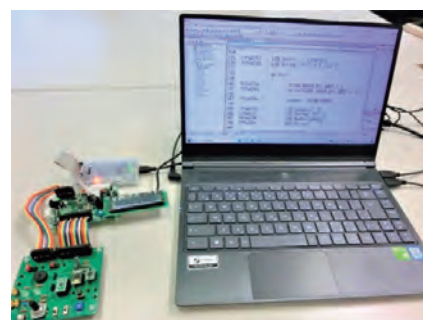
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C15-2	2月18日(水)、19日(木)	千葉キャンパス	10名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	マイコンボード(ルネサスエレクトロニクス RX231マイコン)、安定化電源、オシロスコープ、パソコン等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

32bitCISCタイプのマイコン(RX231)を使用し、I/O制御プログラミング実習、割り込み処理プログラミング実習(入力割り込み、タイマ割り込み等)を通して組込みマイコンシステムの概念・役割を理解し、システムの設計・開発技法を習得します。

主な内容

- 組込みC言語のプログラム
- 組込みシステムの開発環境
- スイッチ、LED、LCDを使用したI/O制御
- 入力割り込み、タイマ割り込み
- 応用実習課題



能力開発セミナーコース 概要

組込みシステム開発・設計

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C16-2	3月16日(月)、17日(火)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	マイコンボード、センサモジュール(温湿度、気圧等)、ブレッドボード等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けたセンサネットワークプログラミングやクラウドサービスを利用したプログラミング実習を通してIoTアプリケーション開発技術を習得します。

主な内容

- コース概要及び留意事項
 - ・コースの目的、専門的能力の現状確認 等
- クラウド技術とIoT
 - ・センサネットワークとクラウド技術の概要 等
- IoTの活用事例
 - ・モニタリングとは、システムの構成仕組み 等
- センサネットワーク技術
 - ・エンドデバイスの通信制御プログラム 等
- 環境モニタリング実習
 - ・総合実習(センサデバイスのデータ活用) 等

出来上がりイメージ



環境モニタリング実習の内容(一部)

マイコン制御設計

マイコン制御システム開発技術 (Raspberry Pi編)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C17-2	3月12日(木)、13日(金)	千葉キャンパス	10名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	Raspberry Pi 3B(使用予定)、開発用パソコン、ブレッドボード、その他各種部品			
持参品他	筆記用具			

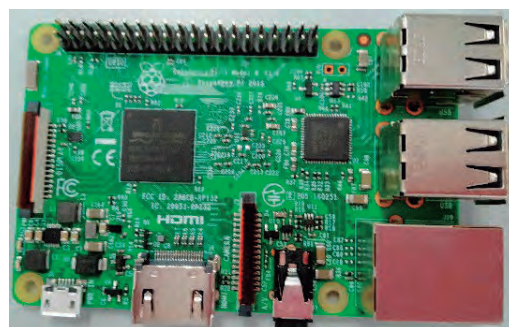
講習内容

組込み機器分野やIoTで注目されているRaspberry Piを用い、Linux系OS上で動作するプログラム作成を通して外部装置(センサやモータ等)の制御システム開発技法を習得します。

主な内容

- Raspberry Piの概要
- 環境構築及び設定
- 周辺回路及び内蔵機能の活用実習
- Python言語による制御プログラム実習
- まとめ(質疑・応答含む)

※進捗状況等により内容の変更がある場合がございます。
※Raspberry Pi 3B以外のRaspberry Piを使用する可能性があります。



【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

通信設備工事／情報配線施工

光伝送路構築技術
(光ファイバ施工に係る知識・技術の習得)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C18	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	20,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	融着接続器、メカニカルスプライス器、ケーブルアナライザ(OTDR、光ロステスト)、光接続箱 等			
持 参 品 他	筆記用具、作業しやすい服装			

講習内容

光ファイバ通信のしくみから光ファイバ施工に必要な知識、光ファイバケーブルの端末処理、余長処理、さらに施工後の測定・評価方法などを実習を通して習得します。

主な内容

- 光ファイバの概要
 - ・光通信の原理、光ファイバの特徴と種類、光コネクタ、接続の種類など
- 光ファイバの接続
 - ・各種光ファイバの接続(融着接続、メカニカルスプライス、コネクタ接続)
- 汎用情報配線設備等の規格
 - ・光ファイバ施工に関する規格について(TIA、ISO、JIS)
- 配線・施工
 - ・光ファイバのケーブル端末処理、余長処理
- 測定試験
 - ・光ファイバケーブルの測定方法(LSPM法、OTDR法)
- 測定・評価
 - ・施工後の測定・評価



電力設備保全／電力変換設備保全

高圧電気設備の保守点検技術

千葉

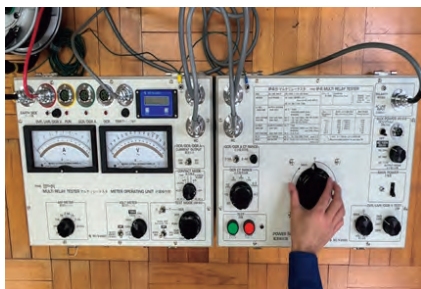
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C20-2	10月2日(木)、3日(金)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	模擬高圧電気設備実習装置、高圧用保護継電器、継電器試験機、位相特性試験機			
持 参 品 他	筆記用具			

講習内容

高圧電気設備の構成や高圧機器の操作方法、保護継電器試験機(リレー試験機)の試験方法を学習するコースです。模擬高圧電気設備実習装置を用いて、実際の点検作業を想定した実習を行います。

主な内容

- 高圧電気設備の構成
- 保護継電器の概要
- 動作特性試験実習
 - ・OCR(OMRON社製)
 - ・GR(OMRON社製)
 - ・DGR(戸上電機社製)
- VCB連動試験実習
- DGR付きPAS・SOGの動作試験
- 高圧ケーブルの絶縁耐力試験



能力開発セミナーコース 概要

生産計画／生産管理

製造業における実践的生産管理

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C27	10月16日(木)、17日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産計画／生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産管理の原理・原則を理解し、製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得します。

主な内容

- 生産管理とは
 - ・生産管理の意義と内容、生産形態の分類、生産計画と生産統制(講義と演習)
 - ・各業務別管理の要点(設計・開発業務、資材調達業務、生産業務、営業・販売業務)
- 生産管理の実態
 - ・製造企業の実態と生産管理業務の考え方
 - ・参加企業が困っている生産管理の問題点と深掘(質疑・応答形式)
- 生産管理演習
 - ・生産期間短縮のための課題と具体化方針
 - ・生産計画作成の課題と具体化方針
 - ・即納を維持するための課題と具体化方針
 - ・他部門と連携するための課題と具体化方針
- まとめ

工程管理／技術管理

生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得)

千葉

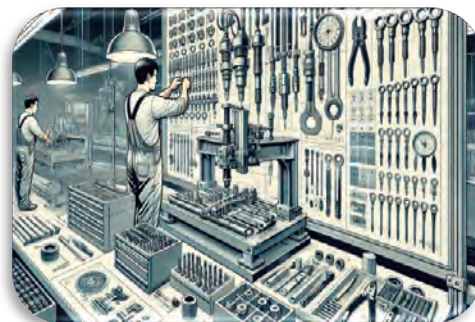
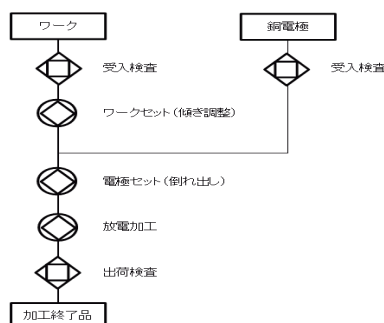
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C28	10月6日(月)、7日(火)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)			

講習内容

製造現場での効率化、作業標準の体系化を通して標準作業手順書の作成をマスターするコースである。製造現場での問題点の抽出、重要度策定、継続的な活動の在り方、自社への導入及び定着に必要な知識・技術を習得する。

主な内容

- 作業標準とは
- 作業標準書とは
- 標準時間と現場
- 国際規格と作業標準書
- 作業標準書の管理
- 作業標準書関連の工程表
- 生産現場に活用できる応用課題



【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

工程管理／技術管理

実践生産性改善

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C29	12月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	パソコン、プロジェクター等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストで素早く対応するため、生産現場の見えない問題を見る化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。

主な内容

- 製造業の背景
- 生産性向上のための現場運営の視点
- 生産現場の評価と視点と改善方法
- 生産現場の構築演習
- 生産性改善実習
- 改善性計画の立て方
- まとめ

工程管理／技術管理

なぜなぜ分析による製造現場の問題解決

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N16	11月12日(水)、13日(木)	成田キャンパス	15名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン、組立実習用製品、分解組立用工具			
持参品他	筆記用具、ノート			

講習内容

工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた事象の論理的つながりを軸に効率的かつ効果的な問題解決手法の実践を通して、製造現場の問題を解決する能力を習得します。

主な内容

- 効果的な問題解決
 - ・効果的・効率的な問題解決とは(問題解決思考と論理、体系的思考と暗算的思考)
 - ・演習 情報整理と仕分け
- なぜなぜ分析の進め方
 - ・効果的な問題解決の進め方(なぜなぜ分析のポイント、問題解決に役立つツールと使い方、問題の定量化、論理の精査とIsnotによる真因検証、対処と解決)
 - ・演習 真因追及と検証
- 総合演習
 - ・なぜなぜ分析で製造現場の問題解決 ・事例読み込み(事例:製品組立て工程におけるネジ締結不良)
 - ・問題の抽出と真因追及 ・真因検証と解決策の策定 ・解決策の評価 ・発表と講師講評
- まとめ

能力開発セミナーコース 概要

品質管理

製造業に活かす品質管理技法

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C31	11月25日(火)、26日(水)、27日(木)	千葉キャンパス	12名	10,000円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持 参 品 他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート、定規			

講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた製造現場で活用できる品質管理手法を習得します。

主な内容

- 製造業における品質管理の技法
 - ・データの取り方とまとめ方
 - ・継続生産の管理手法と加工部品に対する管理図の作り方
 - ・個別生産・ロット生産の管理手法
 - ・相関分析値による生産状態の解析
 - ・不良・障害要因を追求するための手法
- 製造業における品質保証の方法
 - ・製品検査のステップと製品検査の種類
 - ・生産現場における作業の標準化(QC工程表の作成、製造工程管理表の作成)
 - ・加工製品に対する品質保証体系図
 - ・作業工程重視の品質保証
 - ・加工製品に対する特性データの分布を分析する手法
 - ・測定値の分布と規格値の関係
- 生産現場における管理手法の活用実習
 - ・統計的な手法を用いた製品寸法変化の予測
 - ・生産ラインに対する品質管理手法の適応
- 応用課題演習
 - ・生産ラインにおける測定データを元にした不良率の分析課題演習
 - ・生産ラインの工程能力指数及び分布と規格値に関する応用課題実習

品質管理

成功事例から学ぶ品質の維持と向上

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N17	12月17日(水)、18日(木)	成田キャンパス	15名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、工作機械			
持 参 品 他	筆記用具、ノート			

講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得します。

主な内容

- 品質概論
 - ・買手の要求に合った品質とは
 - ・品質管理と品質改善
 - ・設計品質・製造品質
 - ・品質検査の方法と特徴
- 品質管理の取り組み
 - ・定量的な分析と定性的な分析(QC7つ道具、新QC7つ道具)
 - ・製造段階、開発設計段階、商品企画段階での質向上
 - ・固有技術を踏まえた側からの品質管理のあり方
- 品質管理演習
 - ・モノづくりゲーム
 - ・不具合要因の洗い出し(QC7つ道具、新QC7つ道具)
 - ・品質向上策の検討
 - ・モノづくりのやりなおし
- 事例と演習から学ぶ品質向上
 - ・経営面の効果・現場の効果
 - ・顧客の効果
 - ・ケース事例と問題抽出・改善検討
- まとめ

【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

指導技法

5Sによるムダ取り・改善の進め方
(製造現場の5S改善や現場力の強化に役立てる)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C33-2	9月18日(木)、19日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持 参 品 他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。

主な内容

- 生産現場の構造
 - ・生産現場の構造の基本
 - ・企業活動の真の目的
 - ・5S改善とムダ取りとの関係
- 5S推進による現場の改善
 - ・5Sの定義と生産性向上の繋がり
 - ・整理・整頓の手順と指導方法
 - ・実践による現場改善の事例
 - ・指導技法を活用した実践
 - ・5S改善演習
 - ・5Sと見える化の関係
- ムダ取りの実践による現場改善
 - ・ムダの定義と生産性向上の繋がり
 - ・事例紹介
 - ・ムダ取りの効率的な進め方
 - ・ムダ取り演習
- 現場改善のための指導技法
 - ・指導ポイントの整理(5S改善とムダ取りをセットにする。定着化を図る)
 - ・指導展開の要点(目標の設定、指導項目の設定、指導の展開方法、指導計画書の作成方法)
- まとめ

教育訓練計画／教育訓練実施

仕事と人を動かす現場監督者の育成

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C34-1	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
C34-2	11月13日(木)、14日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持 参 品 他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や仕事と現場を動かすための技能を習得します。

主な内容

- 現場監督(主任)の役割
 - ・監督の役割と意思決定(権限)と責任
 - ・作業の段取り確認と作業安全確保、作業品質維持、進捗確認
 - ・上下左右の報連相
 - ・演習(段取り、作業指示、問題解決)
- 現場監督(主任)に求められていること
 - ・班のマネジメント(作業者の意欲向上と取りまとめ、問題を発見し課題と解決策検討)
 - ・マネジメントスキルの習得(組織論と組織開発、成果志向と関係構築志向、モチベーションとリーダーシップ)
 - ・演習(問題・課題解決の手順)
- より良い現場監督(主任)
 - ・現場のコミュニケーション
 - ・班員の指導育成
 - ・仕事を回す
 - ・演習(班のマネジメントケーススタディー)
- 演習(自己開発計画書の作成)
- まとめ

指導技法

技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C35	10月27日(月)、28日(火)	千葉キャンパス	20名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産現場における指導技法の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた現場改善における多種多様な技術及び後輩育成のための指導技法を習得します。

主な内容

- 技能伝承
 - ・技能伝承の重要性
 - ・部下・後輩指導育成の概要(人材育成の3本柱、経営ビジョンと求める人材、指導役の指導)
- 部下・後輩育成の進め方
 - ・目的の提示
 - ・現状把握・分析(継承するノウハウの洗い出し、育成対象者の棚卸)
 - ・育成計画と育成(意図的計画的推進、進捗管理と効果測定)
- 育成担当者の行動
 - ・育成担当者に求められる5つのスキル
 - ・個別カリキュラム設計
 - ・指導のポイント(コミュニケーション、コーチング、支援的助言)
- 総合演習
 - ・部下指導育成の課題と育成計画の作成(事例読み込み、育成計画作成、部下後輩動機付け面接、講師評価)
- まとめ

安全管理

ヒューマンエラー対策実践 (ポカミスのない職場作り)

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N18	10月9日(木)、10日(金)	成田キャンパス	20名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

ヒューマンエラー発生メカニズムを理解し、エラーを発生させない仕組み作りと、エラー発生防止策の実践力を習得します。また、職場に展開し定着させる有効な手法を習得します。

主な内容

- ヒューマンエラーとは
 - ・ヒューマンエラー概要
 - ・ヒューマンエラー発生メカニズム
 - ・行動科学と心理的要因
- ヒューマンエラー防止策
 - ・予防安全と発生時対処
 - ・設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
 - ・担当者の行動からヒューマンエラー発生メカニズムの要因を排除する
 - ・視覚効果を使う
- 現場での定着
 - ・定着とは(わかる・動ける・守れる)
 - ・間違った3大対策
 - ・職場で事例を共有、全員で対策を検討
 - ・現場パトロールと無事故シール
- 総合演習
 - ・職場のヒューマンエラー対策と定着策を立案し、実効策を策定する
- まとめ

能力開発セミナー受講申込みのご案内

1. 受講申込みの流れ

- ①受講希望コースの選択
- ②受講コースの申込みは、「セミナー受講申込書」(P22)をコピーしていただくか、当校のホームページ(PC)から申込書(Excel版)をダウンロードしてご利用ください。

※ホームページは、「ポリテクカレッジ千葉」で検索して、次をクリック

ホームページ(PC)の「企業・一般の方(画面右上)」→「能力開発セミナー(レディメイド型)」→「能力開発セミナー(レディメイド型)のご案内」の「能力開発セミナー お申込み方法」の[こちら](#)をクリック

- ③受講希望コースの実施キャンパスへ電子メール、FAXまたは郵送にてお申込みください。

2. 定員

コースごとに定員があり、受講申込みが定員を超過した場合は、先着順とさせていただきます。

3. 受講通知

受講者の方には、各キャンパスから開講日の3週間前を目途に「受講決定通知書」、「受講料請求書」をお送りします。

なお、各コースとも、最小開講人数以上とさせていただきます。

コース開催予定の3週間前の時点で、申込みが最小開講人数に満たなかった場合は、誠に勝手ながら、当該コースを、中止する場合があります。

中止となった場合は、お申込みの方には電話連絡、電子メール、FAXまたは郵送にて中止の連絡をいたします。

4. 受講料の振込み

開講日の10日前までに、お送りする「受講料請求書」に記載した指定口座へお振込みください。振込み方法(複数コースのまとめ払いなど)については、ご相談ください。

なお、振込み手数料は、お客様のご負担とさせていただきます。

5. 受講当日

各コースの開始時間までにセミナー会場へお集まりください。実施会場の案内は、玄関ロビーに掲示します。

6. 修了証書

講習時間の80%以上を出席された方には、職業能力開発促進法に基づく修了証書を発行します。ただし、講習時間が12時間のコースの場合は、100%の出席が必要です。

能力開発セミナー受講申込みのご案内

7. その他の諸事項

①受講の取消しについて

受講の取消しは、開催日の14日前の同じ曜日（土日祝日に当たる場合は直近前の平日）までに「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」(P24)により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。それ以降の受講取消し、また連絡がないままでの不受講については、受講料はご負担していただくこととなりますので、ご注意ください。

②受講者の変更について

受講者を変更する場合は、開講日の3日前(土日祝日を除く)までに、「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」(P24)により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。

※「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」は、当校ホームページからもExcel版のダウンロードができます。

③追加コースのご案内

年度途中に能力開発セミナーのコースを追加する場合は、当校のホームページにてご案内します。

8. 能力開発セミナーを行っている千葉県内のセンターについて

ポリテクカレッジ千葉以外に千葉県内で能力開発セミナーを実施しているセンターは次のとおりです。

- ・ 千葉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター千葉）
〒263-0004 千葉市稲毛区六方町274 TEL 043-422-4622
※ホームページは、「ポリテクセンター千葉」で検索
- ・ 高度職業能力開発促進センター（高度ポリテクセンター）
〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-2 TEL 043-296-2582
※ホームページは、「高度ポリテクセンター」で検索
- ・ 君津訓練センター（ポリテクセンター君津）
〒299-1142 君津市坂田428 TEL 0439-57-6313
※ホームページは、「ポリテクセンター君津」で検索

9. 千葉県が行う「ちば企業人スキルアップセミナー」について

千葉県では、県立高等技術専門校において、働く方々をサポートする講習会「ちば企業人スキルアップセミナー」を実施しています。

企業等に勤めている方で、今の仕事の能力を向上させたい方や技能・知識・資格等を得たい方を対象に行う短期間（2～4日間）の講習会です。

※詳しい内容は、千葉県のホームページから、次のキーワードで検索してください。

🔍 サイト内検索

ちば企業人スキルアップセミナー

検索



【お問い合わせ】

千葉キャンパス：043-242-4192

成田キャンパス：0476-22-4351

10. オーダーメイドによる能力開発セミナーについて

業種団体（協同組合、社団法人、協会など）や企業の皆様のご要望に合せたセミナーを実施することができます。

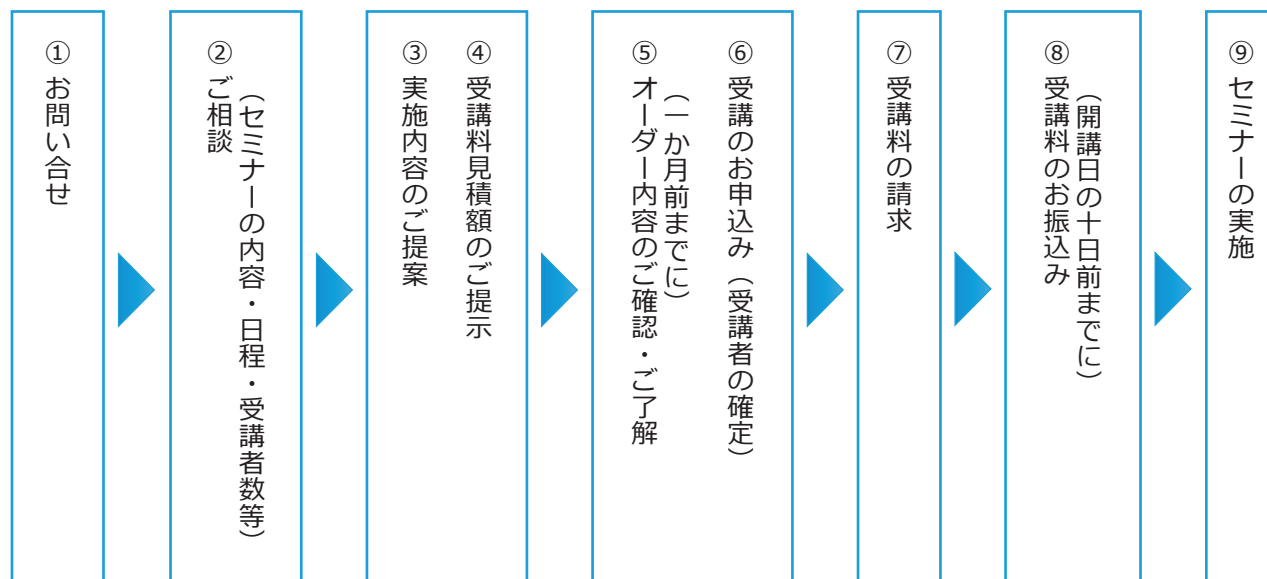
- このセミナーガイドの日程では、都合が悪く受講できない
- わが団体・わが社の実情や目的に合ったセミナーを実施してもらいたい
- わが団体・わが社では、講師や機器、場所がなく、セミナーを行うことができない

このような課題を抱えている皆をサポートします

※このセミナーは、皆様と相談しながらコース内容や日程などを決めていきます。

- ・受講者数は、原則として5名以上としますが、ご相談ください。
- ・受講料は、受講者数、テキストや材料などにより決まります。

オーダーセミナー実施までの流れ



お申込み・お問合せ先

【千葉キャンパス】

学務援助課 セミナー担当

〒260-0025 千葉市中央区問屋町2-25

TEL：043-242-4192

FAX：043-248-5072

【成田キャンパス】

学務援助課 セミナー担当

〒286-0045 成田市並木町221-20

TEL：0476-22-4351

FAX：0476-22-4347

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、**それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。**
※受講申込書の受付確認は、**お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。**お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。
※受講に関する書類は、郵送にて送付いたします。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

- ☐ 千葉キャンパス
- メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp
- FAX: 043-248-5072
- ☐ 成田キャンパス
- メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp
- FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤 務 先	フリガナ			法人番号										
	法人名 (個人の方は氏名)			(個人の方は空白)										
	フリガナ			業種(※1)	(法人番号がない場合、以下の該当に○印) 1.団体、2.個人事業主、3.個人									
	事業所名 (法人名と同様の場合は空白)													
	所在地 (個人の方は住所)	〒 — (TEL: — —) (FAX: — —)												
	申込担当者名	部署課名:		氏名:										
	E-mail													
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、 B. 30~99人、 C. 100~299人、 D. 300~499人、 E. 500~999人、 F. 1,000人以上												
	受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※2)						2. 個人での受講						

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様(個人の方は申込者様)あてに送付いたします。
なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	フリガナ	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※3) (該当に○印)	短大 記入欄
			受講者名			
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※4)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

- ①ホームページ ②セミナーガイド ③DM(リーフレット) ④商工会議所会報誌(千葉/市川/習志野/市原/佐倉) ⑤その他()

〈連絡事項〉

- コース開催の3週間前の時点で、受講申込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- ※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 FF. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業
J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業
P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
- ※2 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※4 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②

(中層: 日付、下層: No.)

ガ
2025
後期

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
 ※受講申込書の受付確認は、お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。
 ※受講に関する書類は、郵送にて送付いたします。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

☒ 千葉キャンパス

メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp

FAX: 043-248-5072

☐ 成田キャンパス

メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp

FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤 務 先	フリガナ	能力開発 株式会社		法人番号 (個人の方は空白)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	
	法人名 (個人の方は氏名)	能力開発 株式会社																
	フリガナ	テバコウジョウ		業種(※1)	E	(法人番号がない場合、以下の該当に○印) 1. 団体、2. 個人事業主、3. 個人												
	事業所名 (法人名と同様の場合は空白)	千葉工場																
	所在地 (個人の方は住所)	〒 260 - 0025 千葉市中央区問屋町2-25 (TEL: 043 - ●●●● - ●●●●) (FAX: 043 - ◆◆◆◆ - ◆◆◆◆)																
	申込担当者名	部署課名:	総務部人事課	氏名:	雇用 太郎													
	E-mail	kovoutaro@▲▲▲▲.com																
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、B. 30~99人、C. 100~299人、D. 300~499人、E. 500~999人、F. 1,000人以上																
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※2) 2. 個人での受講																	

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。

なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	フリガナ 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※3) (該当に○印)	短大 記入欄
C29	実践生産性改善	12月11日	コヨウ ハナコ 雇用 花子	1990年 3月 3日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※4)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

①ホームページ ②セミナーガイド ③DM(リーフレット) ④商工会議所会報誌(千葉/市川/習志野/市原/佐倉) ⑤その他()

(連絡事項)

- コース開催の3週間前の時点で、受講申込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- ※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 FF. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
- ※2 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※4 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
(注) 訓練内容等のご不明点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②

(中段: 日付、下段: No.)

 方
2025
後期

能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、**それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にて**ご連絡ください。

※取消・変更書の受付確認は、**お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等**にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(**千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351**)まで必ずご連絡ください。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

□ 千葉キャンパス

メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp

FAX: 043-248-5072

□ 成田キャンパス

メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp

FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、受講の取消もしくは変更を、連絡します。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	ふりがな				
	事業所名 (個人の方は氏名)				
	所在地 (個人の方は住所)	〒 — — — — — (TEL: — — — — —) (FAX: — — — — —)			
	申込担当者名	部署課名		氏名	
	E-mail				

下記のとおり、能力開発セミナーの ☐ 取消 ・ ☐ 変更] を連絡いたします。

コース 番 号	コ ー ス 名	開講初日	変更前	変更後			備考
			ふりがな	ふりがな	生年月日(西暦) 及 び 性 別	就業状況(※) (該当に○印)	
			受講者名	受講者名			
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

〈連絡事項〉

- 受講の取消は、セミナー開講日の14日前の同曜日(土日・休日に当たる場合は、その前日の平日)までに、また受講者の変更は開講日の3日前(土日祝日を除く)までに、この用紙にてご連絡ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②

(中段:日付、下段:No.)

能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。

※取消・変更書の受付確認は、お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

☒ 千葉キャンパス

メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp

FAX: 043-248-5072

☐ 成田キャンパス

メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp

FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、受講の取消もしくは変更を、連絡します。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	ふりがな	のうりよくかい はつ			
	事業所名 (個人の方は氏名)	能力開発 株式会社			
	所在地 (個人の方は住所)	〒 260 - 0025 千葉市中央区問屋町2-25 (TEL: 043 - ●●● - ●●●●) (FAX: 043 - ◆◆◆ - ◆◆◆◆)			
	申込担当者名	部署課名	氏名	雇用 太郎	
	E-mail	koyoutaro@▲▲▲▲.com			

下記のとおり、能力開発セミナーの ☐ 取消 ・ ☒ 変更 を連絡いたします。

コース番号	コース名	開講初日	変更前	変更後		備考
			フリガナ 受講者名	フリガナ 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	
C29	実践生産性改善	12月11日	コヨウ ハナコ 雇用 花子	コヨウ タロウ 雇用 太郎	1996年5月5日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
		月 日			年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
		月 日			年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)

〈連絡事項〉

- 受講の取消は、セミナー開講日の14日前の同曜日(土日・休日に当たる場合は、その前日の平日)までに、また受講者の変更は開講日の3日前(土日祝日を除く)までに、この用紙にてご連絡ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②

(中段:日付、下段:No.)

Q1. 受講申込みはどのようにしたらよいですか？

A. 「受講申込書」(P22)に必要な事項をご記入の上、電子メール、FAXまたは郵送にてお申込みください。

Q2. 申し込む場合の条件はありますか？

A. 各コースに関する基礎知識を有する方としております。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合がありますので、本ガイドまたは当校のホームページでご確認ください。

Q3. 申し込んだ後で受講者を変更することはできますか？

A. 受講者の変更は、コース開講日の3日前(土日祝日を除く)まで対応できます。
コース開講日の3日前(土日祝日を除く)までに「能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表」(P24)を電子メール、FAXまたは郵送にてお送りください。
なお、「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」(P24)は、当校ホームページからもExcel版のダウンロードができます。

Q4. 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A. コース開催予定の3週間前の時点で、受講申込みが最小開講人数に達していない場合は、誠に勝手ながら中止させていただく場合があります。
中止となった場合は、お申込みの方には電話連絡、電子メール、FAXまたは郵送にて中止の連絡をいたします。

Q5. 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどうしたらよいですか？

A. 受講の取消しは、開催日の14日前の同じ曜日(土日祝日に当たる場合は直近前の平日)までに「能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表」(P24)により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。それ以降の受講取消し、また連絡がないままでの受講については、受講料はご負担していただくこととなりますので、ご注意ください。

Q6. 受講料の支払い方法は？

A. 開講日の10日前までに、お送りする「受講料請求書」に記載した指定口座へお振込みください。
なお、振込み手数料は、お客様のご負担とさせていただきます。

Q7. 受講する際の服装は？

A. 服装について、特に決まりはありませんが、動きやすい服装及び靴がベターです。各コースの「持参品他」欄に、作業服等の指定がある場合は持参してください。

Q8. セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A. 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしている場合に交付します。
なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。
※12時間のセミナーはすべて出席しないと修了証書の交付はできません。

Q9. 駐車場はありますか？

A. 当校には駐車場がありご利用いただけますが、駐車スペースを確約するものではありません。ご利用できない場合もありますのでご了承ください。また、駐車場での事故等については、当校では責任を負いかねますのでご了承ください。

Q10. セミナー会場で写真・動画の撮影や、録音をしてもよいですか？

A. 受講中の写真・動画の撮影、録音等は原則お断りしておりますので、ご了承ください。

利用者の声

1. 中西産業株式会社(鎌ヶ谷工場) 様

コース名	① 5Sによるムダ取り・改善の進め方
	② 製造業における実践的生産管理
	③ 仕事と人を動かす現場監督者の育成

【受講者のコメント】

- 今までとは異なる視点を持つことで実利を追求できると考えました。外部の情報によって違った見方ができるようになったと感じました。
- これまで一般的な生産管理の知識を学ぶことはありましたが、自社の現状に当てはめるなど自分のこととして改善すべきことに気付きました。今後は、会社の数字(B/Sやキャッシュフロー計算書)を深く知ることによって業務改善に結び付けていきたい。
- ただ生産するのではなく、日々改善を考えながら仕事することが大事だと認識できました。



【事業主のコメント】

鎌ヶ谷工場が取り組んでいる、『開発から製造・出荷までの一環した開発・生産体制』を充実させる上で必要となる実践的な知識・技能・技術を身に付けさせることを目的に受講させました。今回のセミナーにより、製品の品質向上、従業員の問題解決能力の向上、上司の部下に対する指導力の向上、生産管理システムの改善につなげることができました。

また、ポリテクセンター千葉が実施している生産性向上訓練も並行して受講させることで、従業員の能力開発が進んだと感じました。



2. 京葉ガス株式会社 様

コース名	① 現場のための電気保全技術
	② 一般用電気工作物の施工技術
	③ 自家用電気工作物の施工技術

【受講者のコメント】

- 漏電が発生した時の電気の流れ方についての知識が身に付きました。差込みコネクタの施工不良による火災が多いと知り、簡単に使用できるものだからこそ専門の知識の必要性を感じました。
- 法令関係など、今まで曖昧な部分について、とても参考になりました。
- EVコンセントの増設工事やブレーカー回りの知識が学べ、参考になりました。また、幹線を触ることや分電盤の取付けを行い、良い経験になりました。

【事業主のコメント】

現在、京葉ガスはこれまでのガス・電気を中心としたエネルギー事業を基盤に、今後はお客さまの生活全般にわたりサービスを提供していく「総合生活産業事業者」へ進化することを目指しております。その取り組みの一環として、京葉ガスサービスショップが受注する電気工事を外注から内製化することを推進しております。安全で高品質の電気工事を行うためには、現場作業員の高い技術力および関係法令の深い理解が求められています。

貴校のオーダーメイドによる能力開発セミナーを活用し、電気工事に関わる法令、設計から施工まで一連の電気工事を学ぶことができ、現場作業員のスキル向上と知識の深化に繋がりました。

今後より一層、電気工事のスキル向上を図り、さらなる施工範囲の拡大を目指してまいります。



つぎの「うれしい!」へ。
KeiYO GAS

3. 一般社団法人千葉県環境保全センター 様

コース名	① 電気工事の施工技術
	② 一般用電気工作物の施工技術
	③ 低圧電気設備の機器選定技術
	④ 低圧電気設備の保守点検技術
	⑤ 有接点シーケンス制御の実践技術

【受講者のコメント】

- 仕事中に制御盤を見るため、気になっていたシーケンス制御の仕組みが理解できるなど、現場の業務を進めるうえで必要なスキルが身につきました。
- 浄化槽管理や受水槽メンテナンスでポンプおよびブロワー等電気設備を扱うため、役に立ちました。
- 実際に仕事現場で役立つ内容を非常にわかりやすく、質問にも丁寧に対応してもらえました。
 - ・「電気工事の施工技術」 : 浄化槽用ロータリーブロワの管理
 - ・「低圧電気設備の機器選定技術」 : 電気機器のメンテナンス及び修理等
 - ・「有接点シーケンス制御の実践技術」 : 制御盤操作やとブルシューティング
- これまで独学やWebで学んできて間違った解釈をしている部分があったが、今回整理して正しく学ぶことができました。
- 現場先行で仕事をしてきたため、専門知識の勉強方法がわからなかったが、今後、仕事を行う上で必要な技術が向上できる気がしました。

【事業主のコメント】

(一社)千葉県環境保全センターは、会員企業に向けて、浄化槽管理士や浄化槽清掃技術者の資質向上を目的として、廃棄物の処理、浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃等に関する「講習会・研修会の開催事業」を展開しています。ポリテクカレッジ千葉が実施する能力開発セミナーは、私どもが展開している「講習会・研修会の開催事業」の一環として継続的に活用しています。

- 現場におけるトラブル対応や自社での簡単な工事の受注、離れた場所からでも現場に知識を伝達できるようになる。
- 知識が身につくことにより、電機を触ることが怖くなり、自信を持って積極的に修理や取り付けができるようになった。
- 制御回路におけるトラブルシューティング、二次被害防止に対応できるようになった。



関東地域の施設所在地一覧



- | | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------|
| ① | ポリテクセンター群馬（群馬職業能力開発促進センター） | ポリテク群馬 | 検索 |
| | 〒370-1213 群馬県高崎市山名町 918 | TEL.027-347-3905 FAX.027-347-6668 | |
| ② | ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター） | ポリテク栃木 | 検索 |
| | 〒320-0072 栃木県宇都宮市若草 1-4-23 | TEL.028-621-0581 FAX.028-622-9498 | |
| ③ | ポリテクセンター茨城（茨城職業能力開発促進センター） | ポリテク茨城 | 検索 |
| | 〒303-0033 茨城県常総市水海道高野町 591 | TEL.0297-22-8819 FAX.0297-22-8822 | |
| ④ | ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター） | ポリテク埼玉 | 検索 |
| | 〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 2-18-8 | TEL.048-882-4003 FAX.048-882-4070 | |
| ⑤ | ポリテクセンター山梨（山梨職業能力開発促進センター） | ポリテク山梨 | 検索 |
| | 〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町 403-1 | TEL.055-242-3066 FAX.055-242-3068 | |
| ⑥ | ポリテクセンター関東（関東職業能力開発促進センター） | ポリテク関東 | 検索 |
| | 〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 78 | TEL.045-391-2819 FAX.045-391-9699 | |
| ⑦ | 高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター） | 高度ポリテク | 検索 |
| | 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2 | TEL.043-296-2582 FAX.043-296-2585 | |
| ⑧ | ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター） | ポリテク千葉 | 検索 |
| | 〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町 274 | TEL.043-422-4622 FAX.043-304-2132 | |
| ⑨ | ポリテクセンター君津（千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター） | ポリテク君津 | 検索 |
| | 〒299-1142 千葉県君津市坂田 428 | TEL.0439-57-6313 FAX.0439-57-6386 | |
| ① | 関東職業能力開発大学校（関東ポリテクカレッジ） | 関東ポリテクカレッジ | 検索 |
| | 〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1 | TEL.0285-31-1733 FAX.0285-27-0240 | |
| ② | 千葉職業能力開発短期大学校千葉校（ポリテクカレッジ千葉 千葉キャンパス） | ポリテクカレッジ千葉 | 検索 |
| | 〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 2-25 | TEL.043-242-4192 FAX.043-248-5072 | |
| ③ | 千葉職業能力開発短期大学校成田校（ポリテクカレッジ千葉 成田キャンパス） | ポリテクカレッジ千葉 | 検索 |
| | 〒286-0045 千葉県成田市並木町 221-20 | TEL.0476-22-4351 FAX.0476-22-4347 | |
| ④ | 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（港湾カレッジ） | 港湾カレッジ | 検索 |
| | 〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭 1 | TEL.045-621-5932 FAX.045-623-7171 | |

- 30 -

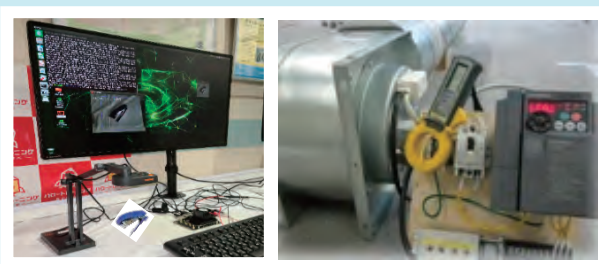
さらなる スキルアップ

を目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例



- ◆年間約700コースの豊富なカリキュラム
- ◆経験豊富な講師陣による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください！

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- AI・画像処理技術＜集中育成コース＞
- データサイエンス技術＜集中育成コース＞

お問合せ先

043-296-2582(事業課)

〒261-0014

所在地

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-mail

kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X (旧Twitter)



YouTube



共同研究・受託研究のご案内

産学連携を推進するため、民間企業等の多様なニーズに対応した研究を実施しています。

研究の種類

- ・共同研究とは、企業等と連携し、材料等の直接的な経費を企業等が負担して行う研究です。
- ・受託研究とは、企業等からの委託を受け、企業等が経費を負担して行う研究です。

申請の手続き

詳細は、下欄 各キャンパスの学務援助課にお問合せ下さい。

実施内容

令和元年度～令和6年度は、以下の共同研究を実施しています。

【令和6年度】

No.	テーマ名	担当科
1	テンセグリティ構造によるワイヤー荷重と木材仕口接点の安全性について	住居環境科
2	円筒研削盤を用いた研削作業工程指導書の作成による技能伝承の効果的な方法に関する研究（その2）	生産技術科

【令和5年度】

No.	テーマ名	担当科
1	中型フードドライヤの開発（その2）	電気エネルギー制御科
2	円筒研削盤を用いた研削作業工程指導書の作成による技能伝承の効果的な方法に関する研究（その1）	生産技術科

【令和4年度】

No.	テーマ名	担当科
1	未利用資源を利用した建築材料の開発（卵殻を利用した建築材料の開発）（2）	住居環境科
2	中型フードドライヤの開発	電気エネルギー制御科

【令和3年度】

No.	テーマ名	担当科
1	未利用資源を利用した建築材料の開発（卵殻を利用した建築材料の開発）	住居環境科

【令和2年度】

No.	テーマ名	担当科
1	榎乾燥機の開発	電気エネルギー制御科
2	インソールヒーターの開発（2）	電気エネルギー制御科

【令和元年度】

No.	テーマ名	担当科
1	スマートフォン用ガラス基板試験装置の制作	電気エネルギー制御科
2	インソールヒータの開発	電気エネルギー制御科
3	LED発光型コースターの改良	電子情報技術科
4	BIMを設計業務で活用するための教育マニュアルの作成と検証（3）	住居環境科

－ 問い合わせ先 －

電気、電子回路、建築、機械製作に関すること
【千葉キャンパス】
TEL 043-242-4192

機械加工・設計・測定に関すること
【成田キャンパス】
TEL 0476-22-4351

施設使用料金一覧表

千葉職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ千葉） 千葉キャンパス

企業が社員の方を対象に、又は協同組合等の団体が会員企業の社員の方を対象に、研修や教育訓練を目的として利用する場合の使用料金は、下欄のとおりとなります。

これ以外の目的で利用する場合は、原則として体育館のみとし、使用料金は2倍の額となります。

また、駐車場のみの利用は公共団体に限ります。

【使用上の注意事項】

1. 施設の使用可能な日は、5月1日から翌年の3月31日までの土日祝日及び長期休暇期間（夏休み・冬休み・春休み）のうち教育訓練が行われない日、及び校長が認める日とします。
2. 施設の使用時間帯は、8時30分から17時30分までの間（1時間単位）です。
3. 施設の使用申請期間は、使用する月の3か月前の月の初日（土日祝日の場合は翌営業日）から使用日の属する月の前月初日（土日祝日の場合は翌営業日）までとします。ただし、5月に使用する場合は、3月1日から4月1日（土日祝日の場合は翌営業日）までとします。
「施設設備使用申請書」を提出する前に、必ず電話で使用予定教室の空き状況をお問合せ下さい。
（例1）使用希望日が5月5日（月）の場合 ⇒ 申請期間：3月3日（月）～4月1日（火）
（例2）使用希望日が6月1日（日）の場合、 ⇒ 申請期間：3月3日（月）～5月1日（木）
（例3）使用希望日が10月5日（日）の場合、 ⇒ 申請期間：7月1日（火）～9月1日（月）
4. 施設使用料金には、別途、利用時間に応じた「警備員経費」が加算されます。
5. 施設使用料金には、別途、利用者数・利用時間に応じた「上下水道料」が加算されます。

令和7年4月1日以降

千葉キャンパス 所在地		千葉市中央区問屋町2-25		
名 称	定員・面積	空調設備の有無	使用料金（時間単価）	内 容
1104 視聴覚教室	138 名	有	650 円	・固定机、3人掛け固定椅子 （縦14列×1・縦16列×2、横3列） ・放送設備（固定マイク1本、ワイヤレスマイク3本） ・スクリーン（パソコン、プロジェクタは持参）
	209 m ²			
1204 大会議室	56 名	有	250 円	・会議用テーブル 23脚 ・椅子 48脚
	113 m ²			
1401 教室	30 名	有	250 円	・1人机・椅子 （縦5列、横6列）
	51 m ²			
1402 教室	30 名	有	250 円	・1人机・椅子 （縦5列、横6列）
	49 m ²			
1409 教室	36 名	有	300 円	・2人机・椅子 （縦6列、横3列）
	75 m ²			
体 育 館	661 m ²	無	250 円	・バスケットコート1面 ※土足厳禁（上履きは持参）

【ご利用上の注意】

- ・使用料は、使用月の前月月末から起算して1週間前の応当日（土日祝日の場合は前営業日）までにお支払いください。
- ・使用の取り消しは、施設使用初日の1週間前の応当日（土日祝日の場合は前営業日）までです。
それ以後に取り消した場合は、使用料等の返金はできません。
- ・施設設備の使用に際して、毀損、紛失した場合は損害を弁償していただきます。
- ・屋内施設は禁煙です。喫煙は指定した場所をお願いいたします。

※施設使用申請書は、当校のホームページからダウンロードできます。

ホームページのトップページから「企業・一般の方」⇒「E.施設利用サービス」と進んでください。

－ 問い合わせ先 －

- 教育訓練、研修等による利用：学務援助課 施設使用 担当 TEL 043-242-4192(直通)
- 上記以外の利用：総務課 施設使用 担当 TEL 043-242-4166(直通)
- FAX 043-248-5072(共通)

施設設備使用申請書

令和 年 月 日

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部
関東職業能力開発大学校附属
千葉職業能力開発短期大学校 校長 殿

所在地 〒 -

事業所名等

氏 名

電話番号 - -

FAX番号 - -

貴校の施設設備を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

使用目的		人員		人			
		駐車場利用台数		台			
職業能力開発促進法第24条による認定の有・無(※) (都道府県知事の訓練認定の有・無)					有 ・ 無		
使用 内 容	使用場所(千葉キャンパス)	使 用 期 日		使 用 時 間		希望訓練用機器	台数
		令和 年 月 日 ()		: ~ :			
		令和 年 月 日 ()		: ~ :			
		令和 年 月 日 ()		: ~ :			
		令和 年 月 日 ()		: ~ :			
		令和 年 月 日 ()		: ~ :			
施設設備使用申請に おける問合せ担当者	(フリガナ)						
	氏 名	(部署名:)					
	電 話	- -					
使用時の担当者	(フリガナ)						
	氏 名	(部署名:)					
	電 話	- -					
使用場所で特別に 必要なものなどの内容							
備 考						資格免許 ^{※2}	

(※1) 職業能力開発促進法(以下「能開法」という。)第24条による認定とは、都道府県知事により、能開法第19条第1項の厚生労働省令で定める基準に適合するものであると認定を受けた職業訓練のこと。

(※2) 貸与を希望する機器等の使用に当たり資格免許等が必要な場合は、申請時に施設担当者へご提示ください。施設担当者が確認のサインを記入します。

(当機構の保有個人情報保護方針、利用目的)

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については施設設備使用の申請に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業の生産性向上に係る課題解決のための知識やスキルを習得するための職業訓練です。

新任層から管理者層まで、幅広い階層に対するカリキュラムモデル131コース（令和6年11月現在）の中から、最適なカリキュラムをご提案し生産性向上のための課題解決のお手伝いをいたします。

ものづくり分野を中心とした在職者訓練と併せて生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

訓練内容	幅広い職務階層の方を対象に、様々な課題の解決や現場力の強化を支援するカリキュラムをご用意し、座学と演習を組み合わせる訓練を実施します。 具体的には、「生産管理」、「組織マネジメント」、「マーケティング」、「データ活用」などがあります。 また、70歳までの就業機会の確保に向けた従業員教育「ミドルシニアコース」では、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムを用意しています。 令和4年度からは、現行のカリキュラムの中からDX（デジタルトランスフォーメーション）に資する要素を含むコースを「DX対応コース」として選定し、中小企業等のDX人材育成を支援しています。
実施方式	オーダーコース：貴社の会議室等を会場とし、コースや日時など貴社の都合に合わせて実施することができます。 また、貴社の課題等に合わせた内容にカスタマイズして実施することが可能です。 複数の部署が同じ課題に取り組むことで、訓練後の部署間コミュニケーションのきっかけとしてご活用いただいた実績もあります。 オープンコース：ポリテクセンター千葉等を会場として開催するコースの中でご希望のコースを受講します。 様々な企業の皆様と同じ会場で受講するため、情報交換の場としてもご活用いただけます。 実施コースやスケジュールは下記のホームページからご確認ください。 事業取組団体方式：事業協同組合等、団体としてご活用いただく方式です。
オンライン訓練	オーダーコースは、集合型の訓練だけでなく、訓練の全部又は一部を同時双方向通信による「オンライン訓練」として実施することができます。 <オンラインの実施方法（例）> ○貴社会議室（講師訪問）← オンライン → 支社、工場、自宅（テレワーク先） ○講師← オンライン → 貴社会議室 ← オンライン → その他会場
訓練時間	4時間～30時間
受講料	1人あたり、2,200円～6,600円（税込。コースの時間数により異なります。）
対象者	企業から受講指示された方のみ。個人での受講はできません。
講師	専門的な知見やノウハウを持つ民間機関等（委託先）が訓練を担当します。
会場	オーダーコース：ご要望に合わせて設定できます（自社会議室や外部の施設等）。 オープンコース：指定された会場（千葉県内）

※上記内容は変更になる場合があります。最新情報はホームページ等でご確認ください。

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

詳細について

★詳細は、ポリテクカレッジ千葉ホームページでご確認ください。また、オープンコースによる受講者募集は随時ホームページに掲載しますのでご確認ください。

URL <https://www3.jeed.go.jp/chiba/college/company/index.html>

生産力 UP! のために 人材を育成しませんか！

企業の
皆さま

それが

生産性向上支援訓練

です

国が進める「働き方改革」に基づく 生産性UP!研修

生産性向上支援訓練（以下「コース」という。）は、課題別に大きく4分野

1. 生産や業務実施のプロセスを改善したい

改善したい項目

現場での問題を見つけ、改善したい

品質保証・管理手法を学びたい

クラウドを活用した仕事の効率化を
学びたい など

コース内容は

ものづくりの仕事のしくみと生産性向上

生産現場の問題解決

品質管理基本／品質管理実践

IoT活用によるビジネス展開 など

2. 組織運営・業務運営の改善や生涯キャリア形成を図りたい

改善したい項目

社員の仕事の効率化を図りたい

業務改善の方策を知りたい

組織力強化を図りたい

役割の変化への対応を学びたい など

コース内容は

現場社員のための組織行動力向上

組織力強化のための管理

成果を上げる業務改善

職場リーダーに求められる統率力の向上

効果的なOJTを実施するための指導法 など

3. 売り上げを改善したい

改善したい項目

顧客拡大を学びたい

マーケティングの概論を学びたい

販売促進を学びたい など

コース内容は

提案型営業手法／提案型営業実践

実務に基づくマーケティング入門

チャンスをつかむインターネットビジネス など

4. IT業務を改善したい

改善したい項目

表計算ソフトの活用を学びたい

プレゼン資料作成やセキュリティ
対策を学びたい など

コース内容は

表計算ソフトを活用した業務改善

相手に伝わるプレゼン資料作成

脅威情報とセキュリティ対策 など

対象となる受講者は？

企業から受講指示を受けた方（正社員・非正規雇用（パート・アルバイトを含む）を問いません）を対象としております。

具体的なコース内容は？

「生産性向上支援訓練コース一覧」の131コース（令和6年11月現在）の中からご希望のコースをお選びいただけます。

コースは次の2種類です

- ① **オーダーコース**：貴社の会議室等を会場とし、コースや日時など貴社の都合に合わせて実施することができます。ご要望に応じて「カリキュラムモデル」を一部カスタマイズして実施することが可能です。
- ② **オープンコース**：ポリテクセンター千葉等を会場として開催するコースの中でご希望のコースを受講します。

※① **オーダーコース**では、6人以上の受講者が必要です。

※② **オープンコース**では、皆さまからのご希望の多いコースを中心に設定し、受講者を募集します。申込者が6人未満の場合は中止する場合があります。

コース担当の講師は？

4分野（A・B・C・D）のコース（コース一覧参照）を担当する講師（民間機関等）から、貴社が希望するコース内容に合わせて、最適な講師を選びます。

コースの日程、時間数は？

日程はオーダーコース、オープンコースによって異なります。また、時間数は訓練分野A・B・Cは6時間以上30時間以下、訓練分野Dは4時間以上30時間以下となります。

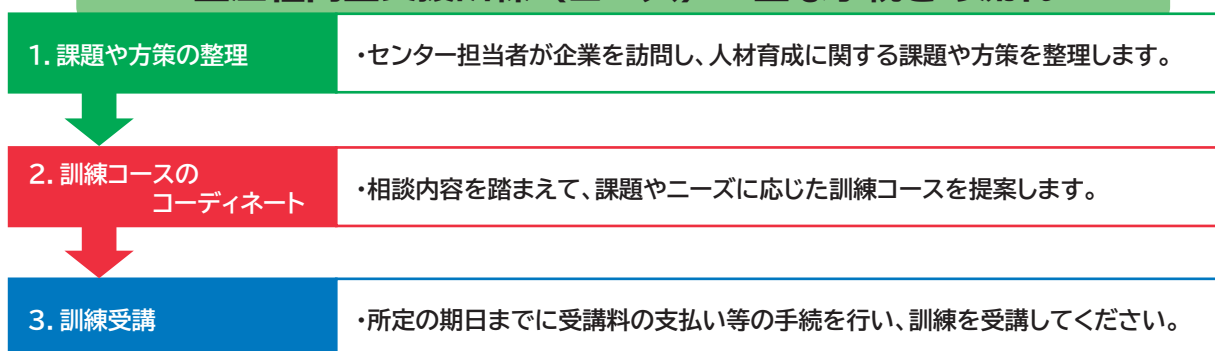
- ① **オーダーコース**：企業のご希望により日程、時間数、カリキュラム内容（一部カスタマイズ可能）を設定します。
- ② **オープンコース**：予め設定した日程、時間数となります。

コースの受講料は？

受講料は、訓練分野、訓練時間によって異なります。

- ・訓練分野A・B・C（訓練時間6時間以上30時間以下）1人あたり3,300円～6,600円（税込）
- ・訓練分野D（訓練時間4時間以上30時間以下）1人あたり2,200円～4,400円（税込）

生産性向上支援訓練（コース） 主な手続きの流れ



助成金・補助金のご利用について

- 人材開発支援助成金（厚生労働省）
申請に当たっては一定の要件がありますので、制度の詳細も含め千葉労働局にご確認ください。
- 千葉市中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金
申請に当たっては一定の要件がありますので、制度の詳細も含め千葉市にご確認ください。

人材開発支援助成金

検索

千葉市中小企業人材育成

検索

令和7年度 生産性向上支援訓練コース一覧（1）（66/131コース）

お問合せ先：ポリテクセンター千葉 生産性向上人材育成支援センター（TEL:043-422-4631）

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	DX・ミドル	推奨対象者			
					初任層	中堅層	管理者層	中高年齢層
A 生産・業務プロセスの改善	生産管理	生産・開発計画	048 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上		●			
			001 生産性分析と向上			●		
			002 生産現場の問題解決			●		
		工程管理	003 生産性向上のための課題とラインバランシング			●		
			004 生産計画と工程管理			●		
		管理手法	005 サービス業における I E 活用				●	
			129 製造分野におけるDX推進	DX		●	●	
		原価管理	006 原価管理とコストダウン				●	
			007 在庫管理システムの導入	DX		●		
		購買・原材料在庫管理・払出	008 購買・仕入れのコスト削減			●		
			009 POSシステムの活用技術	DX		●		
	品質保証・管理	品質保証・管理手法	010 品質管理基本		●			
			011 品質管理実践			●		
			053 サービスマネジメントによる品質改善と向上			●		
	流通・物流	流通・物流	015 3PLとSCM	DX	●			
			016 物流のIT化	DX	●			
			013 流通システム設計	DX		●		
			014 物流システム設計	DX		●		
			012 卸売業・サービス業の販売戦略	DX		●		
			017 SCMの現状と将来展望	DX			●	
			018 クラウド活用入門	DX		●		
	クラウド・IoT導入	クラウド・IoT導入	019 IoT活用によるビジネス展開	DX		●		
			020 クラウドを活用したシステム導入	DX		●		
			021 IoT導入に係る情報セキュリティ	DX		●		
			054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充	DX		●		
			087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用	DX		●	●	
			083 テレワークを活用した業務効率化	DX		●		
			088 テレワーク活用	★ DX	●			
			130 経理業務の効率化につながるDXの実践	DX		●	●	
		システム導入	056 ITツールを活用した業務改善	DX		●		
			089 データ活用で進める業務連携	DX		●	●	
			090 失敗しない社内システム導入	DX		●	●	
			091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解	DX		●	●	
			092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント	DX		●	●	
			117 DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入	DX		●	●	
			118 ハンダーマネジメント力の向上	DX		●		
		新技術活用	093 IT新技術による業務改善	DX		●	●	
			094 AI（人工知能）活用	DX		●	●	
			095 ビッグデータ活用	DX		●	●	
			055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減	DX		●		
			096 RPA活用	★ DX	●	●		
			119 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	DX			●	
			120 データサイエンス入門	★ DX		●		
			131 GX（グリーントランスフォーメーション）の推進			●	●	
		財務管理	037 企業価値を上げるための財務管理		●			
B 横断的課題	組織マネジメント	経営戦略	022 IoTを活用したビジネスモデル	DX			●	
			084 ダイバーシティ・マネジメントの推進				●	
			121 ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合	DX		●	●	
		リスクマネジメント	038 事故をなくす安全衛生活動			●		
			023 個人情報保護と情報管理				●	
			064 高齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築				●	
			039 リスクマネジメントによる損失防止対策				●	
			059 災害時のリスク管理と事業継続計画				●	
			040 eビジネスにおけるリーガルリスク	DX			●	
			057 ネット炎上時のトラブル対応	DX			●	
		ナレッジマネジメント	024 ナレッジマネジメント				●	
			025 知的財産権トラブルへの対応（1）				●	
			026 知的財産権トラブルへの対応（2）				●	
		組織力強化	058 現場社員のための組織行動力向上		●			
			041 業務効率向上のための時間管理			●		
			062 顧客満足度向上のための組織マネジメント			●		
			060 企画力向上のための論理的思考法			●		
			042 成果を上げる業務改善			●		
			043 組織力強化のための管理				●	
			061 職場のリーダーに求められる統率力の向上				●	
			051 管理者のための問題解決力向上				●	

【表記について】 DX：DX対応コース ミドル：ミドルシニアコース（生涯キャリア形成分野） ★：パソコン使用等条件あり

【DXとは…】

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確立することとしていますが、それらを推進するには、社内においてDX活動をけん引するDX人材の育成が不可欠です。経済産業省のDXレポートによれば、約95%の企業はDX(デジタルトランスフォーメーション)に全取り組んでいないが、取組み始めた段階であり、全社的な危機感の共有や意識改革のような段階に至っていないとされています。
[生産性向上人材育成支援センター](#)では、生産性向上支援訓練カリキュラムモデル(131コース)のうち61コースを「DX対応コース」として選定・拡充し、中小企業の「DX人材の育成」を支援しています。

令和7年度 生産性向上支援訓練コース一覧(2) (65/131コース)

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	DX・ミドル	推奨対象者			
					初任層	中堅層	管理層	中高年齢層
B 横断的課題	組織マネジメント	組織力強化	044 プロジェクト管理技法の向上				●	
			052 プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理				●	
			065 継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割				●	
			085 従業員満足度の向上				●	
			086 ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上				●	
			097 ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善		●	●		
			122 テレワーク業務における労務管理	DX	●	●		
			126 DX人材育成の進め方	DX	●	●		
			127 物流現場のリーダー育成		●			
			128 ファシリテーションを活用した合意形成の効率化		●	●		
	ミドルシニアコース (生涯キャリア形成)	役割の変化への対応	066 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	ミドル				●
			067 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割	ミドル				●
			068 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	ミドル				●
			069 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法	ミドル				●
			070 SNSを活用した相談・助言・指導	ミドル				●
			071 フォロワーシップによる組織力の向上	ミドル				●
			072 経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）	ミドル				●
			073 経験を活かした職場の安全確保（対策編）	ミドル				●
		技能・ノウハウ継承	074 クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	ミドル				●
			075 職業能力の整理とノウハウの継承	ミドル				●
			076 職業能力の体系化と人材育成の進め方	ミドル				●
			077 経験に基づく営業活動の見える化と継承	ミドル				●
			078 効果的なOJTを実施するための指導法	ミドル				●
			079 ノウハウの継承のための研修講師の育成	ミドル				●
			080 作業手順の作成によるノウハウの継承	ミドル				●
			081 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）	ミドル				●
			082 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）	ミドル				●
C 売上げ増加	営業・販売	顧客拡大	049 提案型営業手法		●			
			063 ビジネス現場における交渉力		●			
			050 提案型営業実践			●		
			027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善	DX		●		
			028 統計データ解析とコンセプトメイキング	DX		●		
			123 オンライン営業技術	★ DX	●	●		
	マーケティング	顧客情報	029 顧客分析手法	DX		●		
			045 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析	DX		●		
		概論	030 実務に基づくマーケティング入門		●			
			031 マーケティング戦略概論			●		
		顧客拡大	032 マーケット情報とマーケティング計画（調査編）		●			
			033 マーケット情報とマーケティング計画（販売編）		●			
	企画・価格	サービス・商品開発	046 インターネットマーケティングの活用	DX		●		
			034 製品・市場戦略			●		
	プロモーション	販売促進	035 新サービス・商品開発の基本プロセス			●		
			036 プロモーションとチャネル戦略	DX		●		
			047 チャンスをつかむインターネットビジネス	DX		●		
D IT業務改善	ネットワーク	ネットワーク活用	098 ワイヤレス環境に必要な無線LANとセキュリティ	★ DX	ITを活用した業務改善に取り組む方			
			099 社内ネットワークに役立つ管理手法	★ DX				
	データ活用	表計算ソフト活用	100 表計算ソフトを活用した業務改善	★				
			101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	★				
			102 表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化	★				
			103 効率よく分析するためのデータ集計	★ DX				
			104 ピボットテーブルを活用したデータ分析	★ DX				
			105 品質管理に役立つグラフ活用	★ DX				
			106 表計算ソフトを活用した統計データ解析	★ DX				
			107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	★ DX				
		データベースソフト活用	108 データベースを活用したデータ処理（基本編）	★ DX				
			109 データベースを活用したデータ処理（応用編）	★ DX				
			110 データベースを活用した高度なデータ処理	★ DX				
		ワープロソフト活用	111 業務効率を向上させるワープロソフト活用	★	ITを活用した情報発信に取り組む方			
		プレゼンテーションソフト活用	112 相手に伝わるプレゼン資料作成	★				
	情報発信	インターネット活用	113 集客につなげるホームページ作成	★				
			114 SNSを活用した情報発信	★ DX				
			124 オンラインプレゼンテーション技術	★ DX				
	倫理・セキュリティ	セキュリティ対策	115 脅威情報とセキュリティ対策	DX	ITにおけるセキュリティ対策に取り組む方			
			116 情報漏えいの原因と対応・対策	★ DX				
			125 テレワークに対応したセキュリティ対策	DX				

【表記について】

DX: DX対応コース

ミドル: ミドルシニアコース（生涯キャリア形成分野）

★: パソコン使用等条件あり

各種助成金制度

次の講習は人材開発支援助成金、千葉市の補助金の対象となります。

能力開発セミナー

能力開発セミナーは、この助成金の対象となりますので、助成金等の申請時に必要な証明を当校にて行います。

生産性向上支援訓練

生産性向上支援訓練は、この助成金の対象となります。助成金等の申請に必要な証明については当校にお問合せください。

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して行う計画に沿った訓練等について、その訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成するものです。

※申請に当たっては要件等があります。詳しい内容は、千葉労働局のホームページから、次のキーワードで検索してください。

 サイト内検索

人材開発支援助成金

検索 

千葉市中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金

千葉市内の中小企業者は、この補助金の対象となります。

中小企業人材育成・能力開発推進支援補助金は、中小企業者を対象として、業務に必要な技術や知識を習得するために行われる研修制度を利用した場合、若しくは、資格取得のための学習・受験に必要な各種研修制度を利用した場合に、その経費の一部を補助する制度です。

※申請に当たっては要件等があります。詳しい内容は、千葉市のホームページから、次のキーワードで検索してください。

 サイト内検索

千葉市中小企業人材育成

検索 

採用ご担当者の皆様へ

企業は 人なり

～当校学生の採用を是非ご検討ください～

当校は、実習を主体とした実践的な教育訓練システムにより、ものづくり分野で活躍するエンジニアを育成しています。

現在、求人票の受付を行っていますので、当校学生の採用をご検討ください！

【当校の概要】

ポリテクカレッジ千葉（千葉職業能力開発短期大学校）は「職業能力開発促進法」に基づく2年制の工科系短期大学校です。

カリキュラムは、実践的な実習・実験が中心ですが、大学の工学部に相当する専門教科や一般教養も学びます。そのため、一般大学に比べて授業時間は多くなりますが、質の高い実学融合の教育訓練システムや少人数で学生一人ひとりが十分に実習に取り組むことができる設備により、実践的な技能を学べるということが大きな特色です。

設置科について

	科 名	定員	概 要
①	電気エネルギー制御科	20名	電気・制御・機械加工技術に最新の環境エネルギー技術をプラスして、地球との関わりを意識した未来志向のエンジニアを育成しています。
②	電子情報技術科	25名	情報家電や移動体通信に代表される情報通信機能を備えた電子機器の開発など、高度な電子通信社会を支える人材を育成しています。
③	住居環境科	20名	建築計画・構造・施工の基礎から応用までを学習すると共に、インテリア等の科目も設置、修了時には一級・二級建築士の受験資格が取得できます。
④	メカトロニクス技術科 (10月入校)	10名	メカニクス(機械工学)やエレクトロニクス(電気・電子工学)、プログラミング(情報工学)を学び、オートメーションシステムの設計・製作や保守点検ができるエンジニアを育成しています。
⑤	生産技術科	20名	最新鋭のCADを使った設計と、コンピュータ制御の工作機械で機械加工を行い、日々進歩する生産技術に適應できるエンジニアを育成しています。
⑥	航空機整備科	30名	主にプロペラ機について、理論を学び実習で裏付けを行い、次代のニーズに応える航空整備士を育成しています。

求人票の提出について

当校所定の求人票は、次のキーワードで検索して下記の手順でダウンロードして入手してください。

ポリテクカレッジ千葉

検索

(「トップページ」→「企業・一般の方」→「求人票ダウンロード」)

必要事項をファイルに直接入力またはプリントアウトしてご記入お願いいたします。求人票は、郵送・FAX・メール添付のいずれでも受付可能です。

求人票に関するお問合わせ先

科名①②③④ 千葉キャンパス（学務援助課）

TEL : 043-242-4193

FAX : 043-248-5072

科名⑤⑥ 成田キャンパス（学務援助課）

TEL : 0476-22-4351

FAX : 0476-22-4347

求 人 者	ふりがな 会 社 名					雇 用 形 態	☐ 自社の正社員 ☐ 契約社員 ☐ 自社の業務 ☐ 他社の請負業務 ☐ 派遣社員(主に派遣先に勤務)			
	所 在 地	〒(-)								
	ホームページ	https://				採用担当部署 部 課				
	書類提出先	〒(-)								
	代 表 者 名									
	業 種					役職名 氏 名 電話 - -				
	事 業 内 容			設 立	明 大 昭 平 令 年					
		資 本 金	万円		従業員数	男 人	女 人	計 人		
		年 商	万円							
求 人 内 容	科 名	求人数	職 務 内 容			採 用 職 種	技術 研究 営業 事務 その他()			
	1電気エネルギー制御科						勤務予定地			
	2電子情報技術科									
	3住 居 環 境 科					希望する取得資格など (自動車運転免許、その他の資格、経験など)				
	4メカトロニクス技術科	注③								
	5生 産 技 術 科									
	6航空機整備科									
科 指 定 な し										
勤 務 条 件	給与等内訳	①	②	賞 与	年 回 カ月	昇 給	年 回 円 %			
	基本給 (現行)	円	円	勤 務 時 間	平日 時 分 ~ 時 分					
	手 当				土曜 時 分 ~ 時 分					
	手 当				残業 月平均 時間 交替制 有 無					
	手 当			休 日	日曜・祝日・曜		年間 休日 数	日		
	計 (税込)				週休2日制(完全・隔週・月 回)					
	通 勤 費	全額 1ヶ月 円まで		寮(有 無)	労働組合(有 無) 保険等(健康 厚生 雇用 労災)					
応 募 選 考 要 領	会社締切日	月 日	月 日	試 験 方 法	筆記 (常識 専門 作文) 面接 健康診断 適性検査					
	試 験 日 時	月 日	月 日		履歴書 修了見込証明書 成績証明書 健康診断書 その他()					
		時 分	時 分							
	別途通知 月 日以降随時			提 出 書 類						
	場 所				説 明 会	日時 年 月 日 時				
携 行 品	筆記具 印鑑 その他()			場所						

注 ① 貴社の企業案内書等がございましたら添付をお願いします。
② 専攻科によって求人票の提出先が異なりますので、ご注意ください(両校の学科にまたがり求人をいただける場合は、どちらの校の担当あてにご提出いただいてもかまいません)。
③ メカトロニクス技術科は9月の修了ですが、就労型実習を活用することにより、4月からの入社も可能となっております。(詳細は千葉校までお問合せください。)

<科名 1~4 の提出先>
〒260-0025 千葉市中央区問屋町 2-25
千葉職業能力開発短期大学校 千葉校
学務援助課 就職担当係
TEL:043-242-4193 FAX:043-248-5072

<科名 5 及び 6 の提出先>
〒286-0045 成田市並木町 221-20
千葉職業能力開発短期大学校 成田校
学務援助課 就職担当係
TEL:0476-22-4351 FAX:0476-22-4347

ポリテクカレッジアクセスマップ



千葉キャンパス

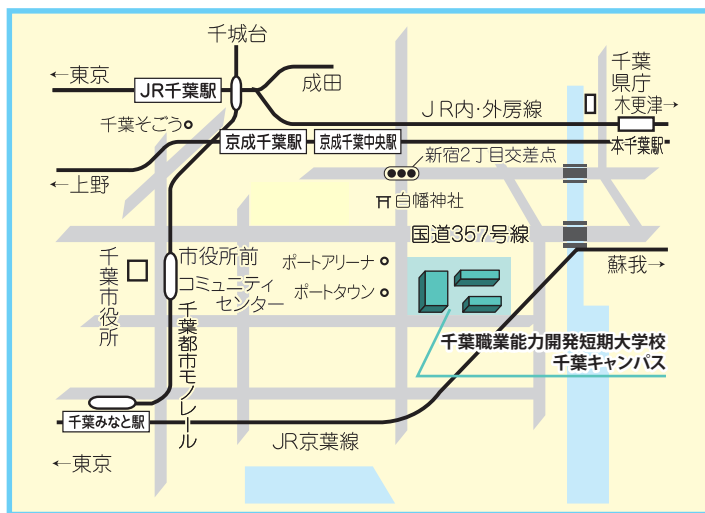


- 車で来校される場合（駐車場完備）
 ●京葉道路幕張ICから約10.4km、穴川ICから約6.5km。
 公共交通機関を利用し来校される場合
 ●JR総武本線「千葉」駅下車、徒歩20分。
 ●JR京葉線「千葉みなと」駅下車、徒歩18分。
 ●京成千葉線「千葉中央」駅下車、徒歩10分。
 ●JR外房・内房線「本千葉」駅下車、徒歩12分。

成田キャンパス

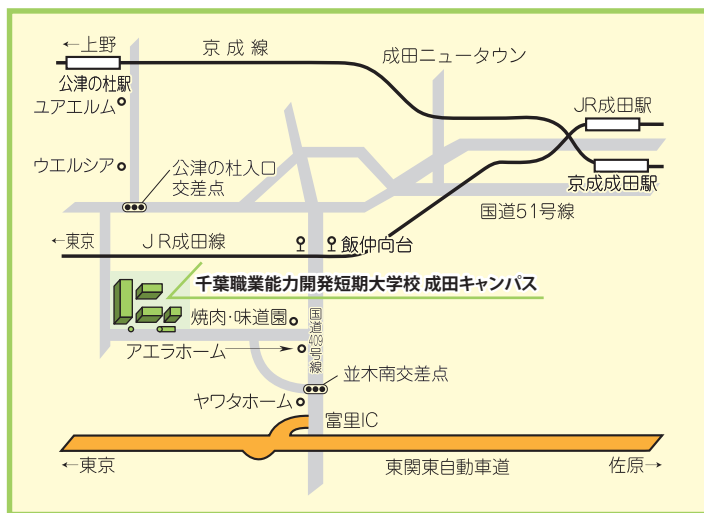


- 車で来校される場合（駐車場完備）
 ●東関東自動車道富里ICから約1.5km。
 公共交通機関を利用し来校される場合
 ●京成本線「公津の杜」駅下車、徒歩18分。
 ●京成本線「京成成田」駅、JR成田線「成田駅」下車で、タクシー10分。又は、京成成田中央バスターミナル4番、5番乗り場から千葉交通にて「飯仲向台」バス停下車、徒歩5分。
 ※JR成田線「成田」駅から、京成本線「京成成田」駅まで徒歩1分。



千葉
キャンパス

〒260-0025 千葉県千葉市中央区間屋町2-25
 TEL 043-242-4192 FAX 043-248-5072



成田
キャンパス

〒286-0045 千葉県成田市並木町221-20
 TEL 0476-22-4351 FAX 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校

ポリテクカレッジ千葉 セミナー

検索



ハートレーニング
 — 急がば学べ —

